

2026年度 社会学部  
総合型選抜入学試験  
外国高等学校卒業生及び帰国生徒対象入学試験

試験日：2025年10月12日(日)  
試験時間：9時30分～10時50分（80分）

## 【小論文課題】

### 【問題】

日本における少子化に関する資料A～Dを読み、以下の問いについて、それぞれ論述してください。

(1)資料A～Dの内容について、500字前後で多面的に論じてください。その際に、すべての資料の図表にふれたうえで、論じてください。

(2)上記をふまえ、少子化の原因や対策について、300字前後で論じてください。

### <出典>

資料A:「出生数初の70万人割れ 縮む日本、揺らぐ経済基盤 昨年5.7%減」『日本経済新聞』  
2025年6月5日朝刊

資料B:「(フォーラム)異次元の少子化:1今の社会は」『朝日新聞』2023年4月23日朝刊

資料C:「(フォーラム)働く20代のモヤモヤ:1本音」『朝日新聞』2022年5月23日朝刊

資料D:「(フォーラム)異次元の少子化:2どう考える」『朝日新聞』2023年5月14日朝刊



# 女性が不自由な日本 積もった不満

カリフォルニア大教授 サビーネ・フリーシュトゥックさん

海外から日本の少子化はどのように見えるのでしょうか。カリフォルニア大教授（近現代日本文化論）で自衛隊や日本の「男らしさ」を主題にした著書のあるサビーネ・フリーシュトゥックさんに聞きました。



少子化の傾向は、日本だけでなく世界の民主主義の国々に共通です。かつては子どもがいることが女性にとって自信や老後の経済的な安全につながったのですが、この30年ほどでそうした意識は弱まりました。女性が経済的・社会的に自由になると、子や夫を持つことは、利点というより負担と感じられがちです。

興味深いのは、日本の女性はそれほど自由なわけではないのに、少子化が進んでいることです。私はオーストリア出身で、20年以上米国に住んでいます。それらの国々と比べても日本には女性に対するたくさんの差別が残っており、特にキャリアの領域では顕著だと感じます。育休は、男女どちらも長期間取れる整った制度がありますが、男女の賃金格差もあって男性はあまり取りません。家事や子どもの世話は、いまだに主に女性の役割です。

つまり日本の場合、女性が自由になったというより、フラストレ

ションが積み重なった結果、今のよう少子化になってきたのではないかと思います。政治家は少子化とジェンダー不平等の関係について、どれだけ理解しているのでしょうか。

防衛費と少子化対策では規模が違いすぎるので、予算を直接比較しても意味はありません。ただ、もし防衛に並ぶほど重要な政策はないという考えが強まっているとしたら、「防衛は男性、子育ては女性が担う」という意識にもとづく、ジェンダー平等の進展へのバックラッシュ（反動）のようにも見えます。

また、これだけ少子化が危機的だと言われても、「決まった人たちだけが子どもを持つ権利がある」という雰囲気があります。たとえば、同性カップルは、特別養子縁組で子どもを迎えることはできません。そうした一つ一つの制限が、全体の雰囲気を与えるインパクトは大きいと思います。

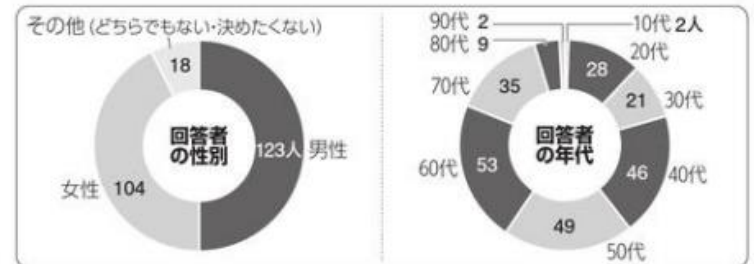
社会的な雰囲気について言えば、日本では電車など公共の場での子どものふるまいについて、母親たちが周囲の目をとても気にするそうですね。カリフォルニアでは、「どんな親になるか」について、いろいろなモデルがあります。だから、たとえ街中で母親の子どもに対する態度が好ましくないと思っても、他の人が文句を言う権利はない、という考え方をします。日本で子どもを連れた女性たちがわざとぶつかられたり、怒鳴られたりといった嫌な目にあっても、大きな声で反論しないのは不思議です。狭い中で肩を寄せ合って生きているからなのでしょう。

最後に。国が、子どもを産みたい人をサポートするのは、国家のためだけでなく人々のためであるべきです。他の医療制度や社会福祉制度と同じです。日本が民主主義国になって久しいのですから、「産めよ殖やせよ」の時代に戻ることはないと思います。（聞き手・高重治香）

日本が直面している少子化問題について、どのように考えていますか。最も近い考えを選んで下さい。



少子化対策として、何が効果的だと思いますか。（2つまで選択可）



朝日新聞デジタルのアンケート 2023年3月22日～4月13日 計245回答

# 結婚後どう働く 想像つかない ■「安定」ありがたい

働く中での最も大きな悩みや不安は何ですか——名古屋市中心部で出会った化学メーカーの技術職の女性(27)は「結婚や子育てなどの両立」を選んだ。仕事は続けたいが、別の夢もある。「いつか好きな人と結婚して子どもを育てたいですね。でも……」と言葉を止めた。

会社は女性活躍のための取り組みを進め、意向も聞かれる。「そういうのって改善されたりされなかったりします。言葉だけが先行しているイメージ」と語った。

札幌駅前で獣医師の男性(27)に、将来のイメージを聞いた。結婚相手も獣医師。「30歳までには子どもが欲しいが、今の職場では難しいかな」と話した。週に数回夜勤があり、出産の時期に悩む。互いの出身地も遠く、どこで子どもを生み育てるかを決めるのも難しい。

東京・新宿で声をかけた広告会社の女性(26)はこの春、計1年8カ月の産休・育休後、職場に復帰した。今は時短で働く。残業の多い職場で、出産前は夜中まで働いた。上司の多くは男性で、子育てに携わっていない世代も多い。「そんな環境で、定時ぴったりに退勤します、というのは難しい」。家庭との両立のための制度は充実していても、利用しづらい。「子ども優先で割り切る

しかない」

転職は当たり前。働き方や結婚のタイミングも人それぞれ。人生の選択肢が増えたからこそ、迷う人もいる。川崎市のベンチャー企業勤務の女性(29)は、仕事には満足し、不安や悩みはないが、具体的な将来を描いているわけではない。

結婚や子育ての希望はあるが、結婚後にどう働くかはまだ考えられない。女性が当たり前働く時代だからこそ、仕事を簡単に諦めるという選択はしたくない。「思い切り働きたいが子育てもしたいが、無理そ

う」。仕事と家庭の配分をどうすべきか、想像がつかない。

仙台市で百貨店に勤務する女性(27)は結婚に強い憧れはないが、同世代の友人の結婚、出産をSNSで知り、「それがわかりやすい幸せの形かも」と思うようになった。家庭との両立が当然の世の中で「今の仕事に未練はないけど、結婚で仕事を辞めるのはなんか選びにくい」。

街頭では、「普通」や「安定」を望む声を多く聞いた。名古屋市で鉄道関係の会社に勤める男性(24)は「幸せでいたい。平均的な暮らしが

できればそれでいい」。抱えている悩みは「ない」。仕事の中身や将来の働き方にそれほど興味はなく、自分の時間やプライベートを大事にする「普通の幸せ」を求めている。

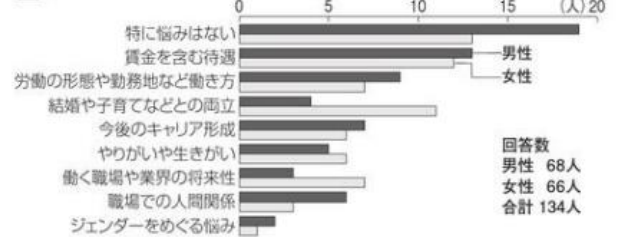
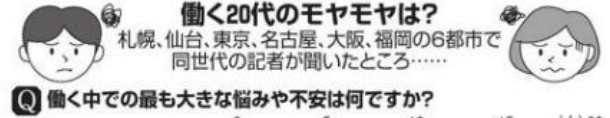
仙台市で会った公務員の男性(26)は、「安定」のありがたみを語った。いつどんな形で、人生の選択を迫られるかわからないからこそ、「何にでも備えられるようにしておきたい」。今のところ、悩みはないが、強いて言えば「これをしたくないのもの」。

(太田原京都乃、前田健汰)



駅に向かい横断歩道を渡る＝福岡市、吉本美奈子撮影

同世代の記者が聞き取りアンケート  
働き方とプライベートの将来にモヤモヤを抱える26歳以下の記者6人が3月下旬、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡で、働く20代に聞き取りアンケートをしました。そこから見えてきた、この世代の表情を2回に分けてお伝えします。



**Q 具体的にどんな悩みや不安がありますか**

■「将来的に子どもが欲しいが、仕事量が多いので1人抜けるだけで結構な負担が周りにかかる。育休を取得した人への陰口や冷やかな目線がある」  
(27歳女性、私立高校教員、東京)

■「仕事に慣れてきてあまり楽しいと感じない日常で、お金もないのに楽しみもない」  
(24歳男性、メーカー、仙台)

**Q 悩みや不安を職場で共有できますか**

■「上司は60代の1人。年も価値観も違いすぎて話しても分からないと思うので相談はしない」  
(23歳女性、芸能プロダクション、東京)

■「一番仲の良い上司は『そうやんな』と聞いてくれるが『解決はしない』」  
(29歳女性、事務職、大阪)

**Q 悩みや不安の解決のため、やろうとしていることはありますか。周囲がどう変われば解決しますか**

■「この期間は異動しないと決められていて、異動しなくても評価が下がらない仕組みになって欲しい」  
(28歳男性、公務員、仙台)

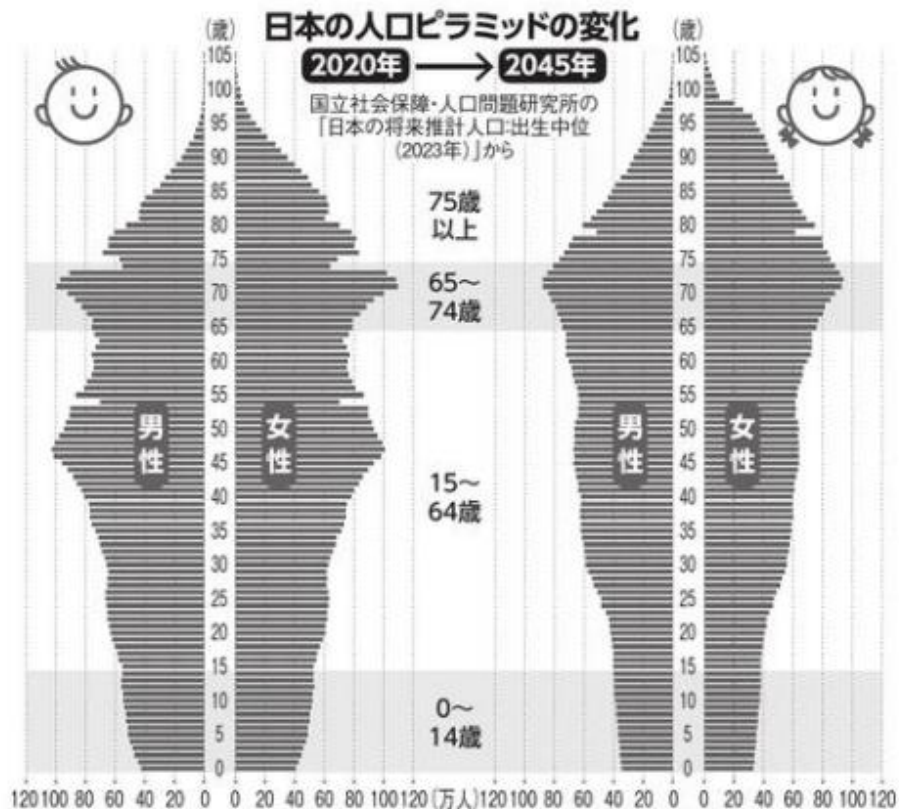
■「結局は自分の努力次第。周りが変わるのではなく、自分が変わる」  
(27歳男性、システムエンジニア、福岡)

**Q 30代以降はどうありたいですか**

■「幸せでいたい。平均的な暮らしができればそれで良い」  
(24歳男性、インフラ、名古屋)

■「結婚して子どもが2人くらい欲しい。結婚したら仕事は辞めたい。育休を取ってキャリアがストップしてまで仕事を続けたくない」  
(27歳女性、金融、札幌)

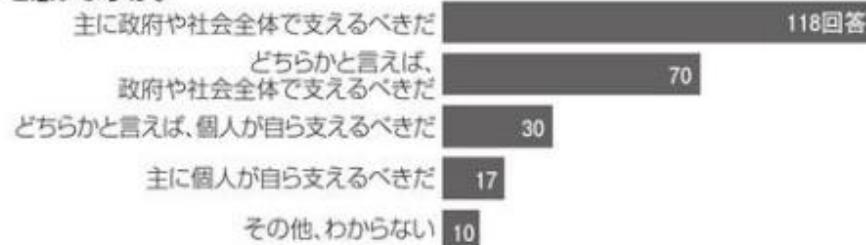
■資料D-1



出典：「（フォーラム）異次元の少子化：2 どう考える」  
 『朝日新聞』2023年05月14日 朝刊  
 承諾番号「26-0367」朝日新聞に無断で転載することを禁じる

■資料D-2

子どもを生み育てることは、個人の問題であると同時に、社会の将来を左右する側面を持っています。不妊治療などの「妊活」や子育て支援は、誰が支えるべきだと思いますか。



少子化対策や子育て支援のための財源は、どのようにして捻出するべきだと思いますか。（2つまで選択可）

